

# HUJLEC

2025.4

## 1 Extensive Reading

What's Extensive Reading?  
『弘前大学 教養教育英語科目 学習  
ガイドブック』を活用してみよう！

## 2 Research

Extensive Reading に関する  
教育と研究  
～小野寺 進 准教授と対談～

## 3 Student Comments

学生の声  
+ POP コンテスト  
Survey

## 4 Special Feature

# 「私にとっての教養英語」

木村 宣美 教授（英語部門長）にインタビュー



# 1 Extensive Reading



フレック

弘前大学教養教育英語科目(Hirosaki University Liberal Arts English Courses: HULEC)では、1年次必修科目の一つであるEnglish Communication C1に、Extensive Readingを取り入れています。今回は、より効果的で楽しいExtensive Readingになるコツを紹介します。

## What's Extensive Reading?

**Extensive Reading**とは、日本語では**多読**と呼ばれます。読んで字の如く、本をひたすら沢山読む学習方法です。大学だけではなく、多読を取り入れている中学校や高校も増えています。一語一語、一文一文の意味を日本語に訳しながらしっかり理解して読む**精読**とは異なる英語学習方法の一つです。学習者が読みたい物を自分で選ぶという主体的な活動であり、英語を読むのではなく、**英語で読む感覚を楽しむ**ことが多読の目的の一つです。そのため、英語学習者は、英語習熟度に関わらず多読を通して自律的な英語学習を促進することができると言われています。

## Merits

多読に関してたくさんの研究がなされ、その効果が実証されています。リーディング・スキルの向上だけではないようです。例えば・・・



- 読解力
- 文法力
- 語彙力
- 速読力
- リスニング力
- プレゼンテーション力

## Principle

より**Merits**を得るためには、次の**多読の原則**を守ることが重要です。

1. 辞書をできるだけ引かずに
2. もとの英語を日本語に訳すことなく
3. 理解度100%にこだわらず、理解度80～90%で
4. 大量に、長時間にわたって英語の本を読む



## What to Read?

**Principle**さえ守ることができれば、なんでも良いのです。

はじめは、英語学習者用に開発された本が良いでしょう。その一つである**Graded Readers**は、文法・単語レベルがレベルによって調整されており、内容は、英語を学び始めたばかりの小学生向けGraded Readersから、ノンフィクションまでと幅広いです。弘前大学附属図書館に所蔵されているGraded Readersには、[Oxford Bookworms Library](#)やPenguin Readersのように紙媒体で貸し出しされている本もあれば、Cengage LearningやInfobase eBooksのような、学内のWi-Fiに自分のデバイスを接続することでダウンロードできるeBookもあります。

\*より詳細に多読を知りたい方は、日本多読学会の[HP](#)もご覧ください。





## 2 Research

小野寺 進 准教授（人文社会科学部）は、ご専門のイギリス文学研究に加え、長年、Extensive Readingを研究されてきました。今回、「Extensive Readingに関する教育と研究」をテーマに、先生と学生が対談しました。



長屋 颯太さん      山中 美月 さん      小野寺 進 先生  
(理工学部 1年)      (人文社会科学部 1年)

**長屋** イギリス文学をメインにご研究されていたそうですが、その中でどうして多読を研究したのですか？先生の学生代にも多読をされていませんか？

**小野寺先生** 学生時代は、多読という概念はなかった。そもそもインターネットがなかったし、海外に触れるためには、直接外国に行くしかなかった。学生時代は、ひたすら英語を読む。昔は大学の授業でも、文学作品を読むのが主流だった。ノーベル文学賞をとった人の作品を読んでいた。

**山中・長屋** すごいですね…（感嘆）

**小野寺先生** すごく難しい物を読まないといけなかった。

**長屋** えっ、大学1年生から難しい本を読んでいたのですか？

**小野寺先生** そうだよ。



**山中・長屋** えー！

**山中** 厳しいですね。

**小野寺先生** そもそも多読が始まったのが結構最近なので。もともとはScotlandのEdinburgh大学が始めたんだよ。それを知ったのが、だいたい2000年になる手前なのかな。『英語教育』という雑誌に多読というものが出たの。昔は、弘前大学には人間文化課程と社会経営課程とがあって、そのときに**外国語実習**というカリキュラムを作るようになった。で、1つは**テキストを使わない、全部オーラルでコミュニケーションする**という授業。2つ目は、**できるだけたくさん英語を読ませる**。要するに多読ですよ。多読の授業は、2000年から本格的にスタートした。外国語部会というのを作ったときに、「こういうのあるよ」と出て、「やってみよう」と始めた。そこで初めて個人的に学生に『**多読プロジェクト**』というのをやって、個々に多読をやりたい人は研究室に来てくださいと。

**長屋** 具体的にはどのような仕組みだったのですか？

**小野寺先生** 1年生後期から2年生後期までの3学期まで。1年生の後期からだ、前期の教養教育で英語を学んでいるので、英語の基礎はできている。授業は**選択制**だったんですよ。ただ、英語の教員免許取る人は必修という感じで。当時360名学生いて、そのうち120名くらい一年生で受講した。つまり、課程を超えて、受けた人は受けに来ている。でも、当時どのようなレベル設定をしたらいいか分からなかった。**大学入学レベルだと英検2級程度**なので、**レベル3を一週間で一冊ずつ**読ませた。ページだと**60ページ**くらい毎週読んでいた。**章ごとに要約**をさせて、後ろにあるExerciseをさせる。Exerciseで答えられないとけないので、きちんと読まないとし、当てられたら要約もしないといけない。







山中 レベル3の本見たことないです（笑）。

（レベル3の本を見て）

山中 これがレベル3ですか？私はレベル1だったので。なんか厚い！

小野寺先生 これがレベル3。これを週に1回読んでもらって、半年で15回やった。授業前にテキストを買ってもらって。1冊高いんですよ。学生のみんなは14冊購入すると。1万円近くかかるんですよ。でも残るものなので。14回まで普通に読んで。最後の15回目は、こちらでテキストを指定して、その日に生協で買って、授業に持ってきてもらってその場で読んでもらう。

山中 時間内にちゃんと読めるか確認するんですね。ハードな授業ですね。

小野寺先生 だから、その時の大変な授業を乗り越えた人は今だと大学の先生とかやってるんですよ。今度は2年生になって学生が60人になって2クラスになる。次はレベル4を読むんですよ。

長屋 レベル4を週に1冊ですか？

小野寺先生 そう。週に1冊。10回目までなんですよ。11回目からはレベル5。

山中：昔の大学生は本当に勉強したんですね。

（レベル5の本を見せながら）

小野寺先生 これがレベル5ね。これは結構細かい。毎週読んで、前期終わる。で、2年後期は違う。

山中：選択科目でももんね。60人もいたんですよ。

小野寺先生 2年生の後期になると30人くらいかな。1クラスになったので、私が1人でやった。



山中 「5分間の多読レベル測定法」がすごくいいなと思っているのですが、小野寺先生はどのような状況で、この測定法を閃いたのですか。

小野寺先生 普段は、個別にやっていた時期があって、その時は学生と面談して「何が好きなの？」「英語のレベルどのくらい？」って聞いた多読して。「こういうのはどう？」という風にしてた。それをクラスでやるとなるとものすごい時間がかかるわけ。どうしたらいいんだろうと。そこでこう考えたわけです。まず読ませるのが一番いいのかなって思ったんですよ。で、100ワードなのか200ワードなのかを計ったらいいのではと。で、限られた時間内でやるには10分では長すぎるし、3分では短すぎると。5分くらいかなと（笑）。

山中・長屋 さっきその話していたんですよ。何で5分なのかなって（笑）。

小野寺先生 10分読ませるのは結構しんどいかなって（笑）。かといって3分くらいでも短いよなってなったの。そこで、ストレスなく読めるのは、まずは未知の単語が出てこないこと。あるいは文法が難しいこと。この2つかな。あともう一つあるとすれば、内容。これ理工学部 of 学生と人文の学生では違うんだよ。ノンフィクション得意なのが理工学部、フィクションが得意なのが人文の学生。だから、フィクションでもないしノンフィクションでもないもので簡単に5分くらいで読めるものがあるのかなって。

長屋 なるほど。先生のご経験からの勘なのですね。

小野寺先生 そう。英語は辞書引いて正しく読むのは大事なんだけど、ペーパーブックとか英字新聞とか海外に行ったら山ほど読まなければならないものが出てくる。日本人学生の留学で一番の悩みは1冊の本を次週までに読んでレポートを書くこと。毎週200～300ページの本を読んでレポート書かなければいけないんですよ。どう？できると思う？

山中・長屋 無理ですね（笑）。

小野寺先生 それに対処できるように、**大量の長文でも早く読めるための訓練をしなければいけない。そのためには多読。**要するに、まずはペーパーブックまで読めるようになりましょうということで始めるわけ。これで**レベル4~6**やるんですよ。

山中 えっ、6ってあるんですか？！

小野寺先生 あるある。レベル6だとペーパーブックと同じ感じ。だからこれを普通に読めるようになったら次はペーパーブックに行けると。ミハイル・エンデの『モモ』とか知ってる？

山中 分かんないです（笑）。

小野寺先生 『モモ』は面白い話なんだけど、レベル6も普通に読めるようになると平気に1冊読めるようになる。そうなると楽しい。こういう訓練していくと、普通の英字新聞も1ページを1分かからずに読める。

山中・長屋 え、すごい。

小野寺先生 そういふことなんです。記事を読むのに1分くらいで読める感じになるわけ。The Japan Timesだと知らない単語は出てこないんだけど、さすがにThe New York Times (=NYT) になると分からない単語が出てくる。で、**面白いのは、NYTは文体が素晴らしい書き方しているのが分かる**ですよ。私はNYT好きだなと思っている。本当に英語らしいし、すごく粋な書き方しているのが分かる。「こういう表現使ったらいいのか」とか。洗礼された文体で、知識人が喜ぶような書き方ですよ。

長屋 **多読には4つの原則あったと思うんですけど、そのほかで多読するときに注意した方がいいとか、より効果的になることってあったりしますか。**

小野寺先生：ん〜、やっぱり**楽しむことが一番大事**。多読の研究者として有名なDay先生が言うんだけど、秘訣が3つある。**1つはenjoy、2つ目はenjoy、3つ目はenjoy**。それだけ。面白くなければ途中でやめていいんですよ。**読んだときにあることを知って、喜びを得るとというのが一番かな**と。「あ、分かった！」と。大事なのは、みなさん日本の文豪とか読みます？単行本とか。

山中・長屋 よく読みます。

小野寺先生 新書とか読むの？

山中 新書はたまに読む感じです。

小野寺先生 新書は自己啓発本だけど、まあなんでも読んで、要するに**日本語で読むのと同じような感じで英文を読めるようになったら楽しいわけ**だ。そのためにどうしたらいいのかなと。**やっぱり日本語の文章の量をたくさん読む練習が必要**で。あともう一つは、**いかに正確に読めるかということも練習**。そういうのも必要。どうしたら正確に読めると思います？

長屋 どうしたら正確に読めるか…。なんだろう…。

小野寺先生 書いてあることをどうしたら正しく読めるかが難しいんですよ。小説であればあるほど難しいっていうのは、言外の意味が出てくるから。表面にはこう書いてあるけど裏にはこういう意味があるっていうことを読み込まなきゃいけない。

山中 確かに。



小野寺先生が授業や研究で使用している  
[Oxford Bookworms Library](https://www.oxfordbookworms.com/)





小野寺先生 なので、ただ使われている単語に対して「なぜこの単語が使われているのか」と語源に戻る。あるいは、「書き手はなぜこの単語を使ったのか」「なぜこういう構文にしているのか」。ここで出てくるのが多読。多読というのは、要するに多少分からない単語出てきてもどんどん読むんですよ。何度も繰り返し単語に遭遇することで、「この単語って知らないけどこういう意味なんじゃないかな」というのがなんとなく文脈から分かる。よく学生は、単語をそのまま覚えるとかするけど、そういうことって無駄だよな、意外と。

山中 単語で覚えようとしてしまいます。

小野寺先生 大事なのは語幹。語幹が大事で、prefixとかsuffixとかあって、これがかっついているだけなんで。じゃあ、その語幹がどういう仕組みで成り立っているの分かれば、だいたい言葉が出るようになるの。一番授業でまずいと思っているのが、知らない単語が来たら、その単語だけ書き写して意味だけ書いて単語帳作ること。あれが一番無駄だと思う。

山中 あ、結構してしまいます。

山中 小野寺先生は今後の多読の研究がどう発展していくと思いますか？

小野寺先生 どうだろうねー。みなさん活字自体読む習慣ないでしょ。タブレットにしてもどちらかという視覚を用いることが多くて、映画とか。そちらの方に移行していくのかなと。あるいは、AmazonでやっているAudibleあるんだけど、そういうの聴く？

長屋 いや、聞かないです。

小野寺先生 どうなるのかな。でも基本的には、読むことが基本かなと。

山中 今後の学会でどういう研究が出てきますかね。

小野寺先生 なんかみんな同じだからね。なんかね、「やりました」「こういうのが出ました」とかそんな研究ばかりだった。

山中 多読が効果があるのは分かっているんですもんね。

小野寺先生 そうそう。だから、それがどうなのかっていうことが大事。効果あるのは分かるので、どうしたらいいのかな（笑）。どういうことを学会がやっているのかというと、今の研究者は自分の飯を食うためにやっているんだよ（一同笑い）。

小野寺先生 だから偉いなあと思っているのは大学も退職して、好きにやっている方。本当にすごいと思う。自分のお家に子供たち集めたりしてやっているんですよ。

山中・長屋 へえー、そんな方いらっしゃるんですね！

小野寺先生 そうそう。今は公文も幼児からやっているから、本をどう読ませるかを研究にどうかな。

山中 英語以外の多読研究というのは可能性ありますか。

小野寺先生 フランス語はね多読の本があるので、それやってみたりとか可能性はあるんじゃないかな。なんか違う言語習ってる？

長屋 習ってないです。

山中 私は中国語やっています。中国語とか他の言語の多読増えたらいいですね。アプリとかだといろんな言語入っていて。その感覚で、多読の効果は分かっているので、もっとあったらいいなって。



小野寺先生 あとは、多読本を使って、リスニング力を上げる。

山中 リスニング力？

小野寺先生 どうやってできると思う？アウトプットなのよ全て。学習っていうのは、学んだことを外に出して初めて学習になる。それが学習。大事なのは、声に出して練習。だから、この多読の本がちょうどいいんじゃないかなと思ってている。

長屋 多読本の活用方法の研究ということですね。

小野寺先生 そうそう。そういう使い方もできる。Day先生は、WritingもListeningもSpeakingも全部具体的にはあんまり言わないんだけど有効だと言っている。自分で実際にやってみることが一番大事。音読は英語にとってすごく効果的。リズムをつかめる。英語っていうのは非常にリズムカルな言語だから、リズムがおかしければ文法的におかしいという感じなんです。そういうのあんまり分からないでしょ。

山中・長屋 分からないです（笑）。

山中 すごいですね。単語の仕組みとか、英語のリズムについても学んでみたいです。

小野寺先生 言語は楽しんで学ぶべきものですよ。

人生初の「対談」をさせていただきました。1時間半も対談させていただきました。対談を書き起こすのにA4に16ページ、2週間かかりました。そんな経験も含め、今回の対談はとても思い出深い経験となりました。小野寺先生の学生時代や海外経験のお話も、大変興味深かったです。小野寺先生、貴重なお時間をありがとうございました。

(山中)



小野寺先生との対談を通して一番印象に残ったことは、とにかく楽しんで多読をすることが大切だとお聞きしたことです。多読は、英語は苦手な人でも楽しむことが大切なので、多読はとても始められやすく、英語力を上げられると思いました。多くの人に多読をトライしてもらいたいと思います。

(長屋)



generated by DALL-E

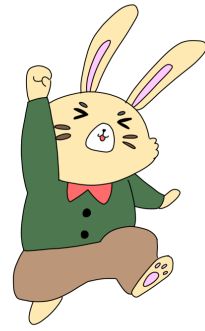


# ③ Student Comments

## 学生の声

多読をしてみたの感想を学生に聞いてみました。

(注) 決して、良いコメントだけを要求をしていません。編集もしていません。本当の生の声です。



### 佐藤 優伍 さん (理工学部)

英語の本を読むことは正直なところ苦手で、**最初は強い抵抗**がありました。知らない単語が多く、内容を理解するのに時間がかかり、読んでいても途中で嫌になってしまうこともありました。しかし、**毎週続けることに意味がある**と考えます。完全に克服できたわけではありませんが、最近の**英語の勉強では以前ほど英語に対して抵抗を感じ**なくなりました。嫌でも英語の本を読んだことが、今では少し力になれていると感じます。



### 吉沢 大輝 さん (人文社会科学部)

私は英語の読書の学習を通して、**英語の文法や使い方を学ぶ**ことが出来ました。私は弘前大学に入学するまで、英語の本はほとんど見た事はなかったのですが、**英語の内容を理解することで英語に自信**がつかえました。その結果、苦手意識が無くなり、難しい英語の文法であったり、単語でも前向きに取り組めるようになり、**授業が楽しく**なりました。この学習をすることで**英語の楽しさ、理解した時の達成感**を感じる良いきっかけとなりました。



### 鳴海 光遥 さん (農学生命科学部)

英語読書の習慣があったことで私は**英語のスキルがレベルアップした実感**があります。具体的には、**わざわざ英語から日本語に訳しながら読むという場面が減った**ということです。今までは英語を訳しながら文章を読み取っていましたが、英語の文からそれらを理解できるようになりました。この習慣があったことで、大学入学当初のベルクテストの結果から夏のベルクテストへは**点数を大きく伸ばす**ことが出来ました。これからも**空いた時間で英語を読む習慣をつけていこう**と思います。



### 長畑 侑那 さん (農学生命科学部)

英語の勉強は、机に向かってひたすら取り組むだけではなく、英語の薄い本を読むことや、映画の音声設定や字幕設定を英語に変更してみるなど、**気軽に始められる方法を選ぶ**ことで、抵抗感が減り、取り組みやすくなると感じました。その**積み重ねが英語力の向上につながると実感し、これからも英語の勉強を続けていきたい**と思うようになりました。



### 蛭名 健太 さん（理工学部）

多読では、自分で本を選択し、それを読み、ワークシートに内容を記入してまた本を探すという一連のサイクルを繰り返すことにより、英語の文章に自分から触れにいく習慣と、英文の理解力を身につけることができたと思います。図書館には細かくレベル分けされた多読用図書があり、自分のレベルに合った本を見つけることができたおかげで、英語と聞くだけで抵抗感のあった自分が英語に親しみを持てるようになりました。



### 高橋 ひなた さん（教育学部）

英語で書かれた本を読むというのは英語が苦手な私にとって苦痛そのものでした。しかし、自分のレベルに合った本を自分のペースで読んでいくうちに本の内容を理解できるようになっていき、多読を始める前に比べて読むスピードが格段に速くなったと感じます。最後の方には、自分は英語ができるようになったのではないかと錯覚するくらい英語に対する苦手意識がなくなりました。自分のレベルに合わせて学ぶことの大切さを実感しました。

## + POPコンテスト

弘前大学附属図書館では、毎年POPコンテストを開催しています。そのコンテストに多読で読んだ本の中でオススメの本をPOPにして応募した学生もいます。「本を読む」から「印象に残っているシーンをPOPにする」には、どのような意味があったのでしょうか？POPコンテスト出場者からのコメントです。

### 葛西 美風 さん（理工学部 2024年度出場）

#### *Mulan*

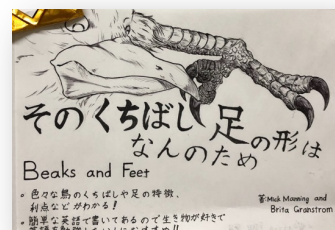
多読をするにあたり最初は「やらなければならない」という考えだったのですが、何度も繰り返すうちに「もっと読みたい」という楽しさになりました。英語の授業の一環で多読のPOPコンテストに参加し、一枚の紙に本の良さを表現するのは難しかったのですが、イラストだけの提出も可能で英語が苦手な人でも取り組みやすく面白かったです。英語が苦手だからと敬遠するのではなく様々な方法で楽しく学べるのが大きな収穫になりました。



### 初田 康真 さん（農学生命科学部 2024年度出場）

#### *Beaks and Feet*

毎時間英語で書かれた本を読み感想や意見などを交換する、多読を行いました。私はこの活動を友達と一緒に取り組んだため最後まで楽しく続けることができ、前期の履修が終わるころには初期と比べ物にならないくらい英語の長文を理解するスピードが上がったと思います！また、クラス全体で取り組んだPOP制作は自分で読んで面白かった本を多くの他者に共有することができるので知見を広げるいい機会になったと思います。





## 山中 美月 さん（人文社会科学部 2024年度出場）



### *The Bridge*

本の内容を一枚の絵で表すのは難しかったです。私が選んだ『The Bridge』は表紙の美しさに惹かれて手に取りましたが、内容が恋愛ものだと知って驚きました。多読本には、**予想を超える奥深さや感動、心温まる物語との出会い**があります。特にこの本は、さまざまな愛の形を描いていて感動しました。多読は英語力を養うだけでなく、**自分の人生を養う糧にもなる**と思います。さらに、**絵に表すことで内容への理解がより深まる**と感じました。

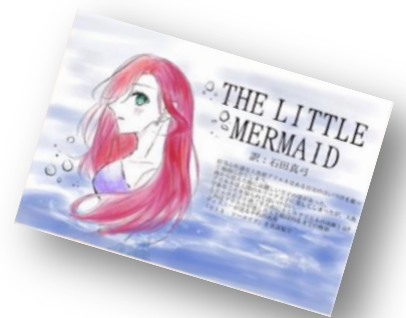


## 工藤 愛加 さん（理工学部 2023年度出場 佳作）



### *The Little Mermaid*

英語に自信がなかったため、多読に取り組むことに不安を感じていました。はじめは分からない単語が多く、一冊読み終わるまでにかかる時間が長かったのですが、多読を続けるうちに**頻出の単語や文章を理解できるようになり、速読力が身についたことが実感**できました。POP作成にあたり、「THE LITTLE MERMAID」を読みました。**和訳では気づけない英語ならではの言い回し、ことわざを学ぶ機会になった**と思います。昔からある名作ということもあり、**魅力がたくさん詰まったこの本を一枚のPOPで表現することは難しかったです**。私の書いたPOPを見て、この本に興味をもってもらえたら嬉しいです。



## 土屋 歩加 さん（農学生命科学部 2022年度出場）



### *Rainforest Boy*

私は**英語が苦手な人でも読んでみたいPOPを作りたい**と思い、私は読みやすい本を選び、絵をたくさん描きました。印象に残った部分を、**絵と英語で読みたくなるように表現する**のは英語が苦手だった私にとってとても難しい作業でした。英語が嫌なら絵をメインにすればいい！の考えから本に書いてある英語から場面を想像して描かれていないシーンをポップに4コマのようにしてみました。いつも内容を理解するのを頼りにしている絵がないのですから、**この英語の表現はこの絵な感じで合っているかな？**という箇所がたくさん！**何度も調べたり、海外の友達に聞いてみたりとPOPの作成を通じて英語の学習**にもなりました。たくさんの票をいただき、応募しましたが落選でした。たくさん本を読んだり、調べることで英語の読むスピードや理解する力が変わったと実感しています。

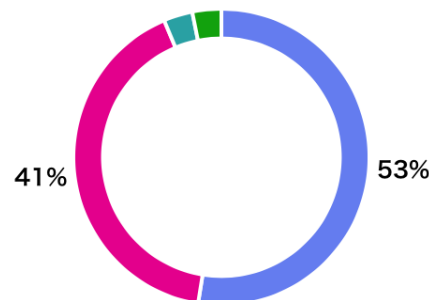


# Survey

小野寺進先生（p. 3）と立田夏子先生（教育推進機構）は、2022年度から多読に関する共同研究をしています。ここでは、2024年度に実施したその調査結果の一部を紹介します（158名回答）。

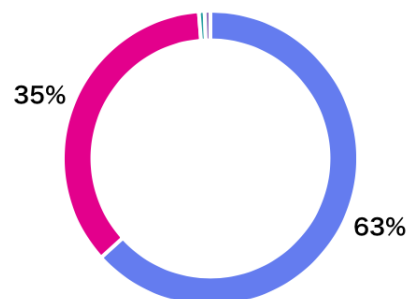
## 1. 「5分間多読レベル測定法」はその後の多読に有効でしたか？

● とても有効だった。	83
● どちらかと言えば、有効だった。	65
● どちらかと言えば、有効ではなかった。	5
● 全く有効ではなかった。	0
● 測定していない。	5



## 2. 多読は英語学習に有効だと思いますか？

● とても有効だと思う。	100
● どちらかといえば、有効だと思う。	56
● どちらかといえば、有効ではないと思う。	1
● 全く有効ではないと思う。	1



### 理由

「とても有効だと思う」「どちらかといえば、有効だと思う」理由

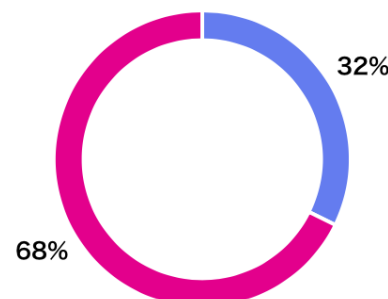
英語と触れ合う習慣が身についた／物語を読むことによって、教科書だけでは足りない語彙があると思った。あと、英語のユーモアを知ることができると思う／日常的に英語を読むことで身体に英語をわからせることができるから／早く読めるようになると、英語ができるようになった気がしてきてモチベーションにかかってきて、勉強意欲につながると思うから／楽しみながら英語を学べた自分にあうレベルですすめることができたから。本なのでイラストがあり話が入ってきやすい など

「どちらかといえば、有効ではないと思う」「全く有効ではないと思う」理由

学習効果に疑問が残ったため／人による

## 3. 多読に飽きたことはありましたか？

● あった	51
● なかった	107



### 飽きた時にどのようにして乗り越えましたか？

一回時間を置いた／気合い／根性／音楽をかけた／簡単なものに戻ってやった

／自分に合わないストーリーの時はすぐにやめて、新しい本を読み始めたら飽きなくなった

／短めの本を読んだりした／うっすい本を選んで読んだ／面白そうな本を選んだ／レポートより全然ましたと自分に言い聞かせて何とか読み切った／違う日に読んだ洋画見てモチベーションを保った など

#### 4. 今後も、Extensive Readingを自主的に英語学習に取り入れたいと思いますか？

(星の数が多いほど、取り入れたい気持ちが高い)



#### 5. 他の学生に、多読に関するアドバイスをするとしたら、どのようなアドバイスをしますか？

マイペースで頑張る

たくさん本に触れる

短くて読みやすい本の方が良い

簡単な本からむりせずに読むこと

最初は質より量

続けられる語数で少しずつやれば良いと思う

飽きたら別の本を読む

継続すること

できるだけ時間に余裕があるときに読んでほしい

読みたい本を読んだほうが良い

楽しもう

早い段階に取り掛かったほうがよい

リラックスして読む

訳したくなる気持ちは分かる。でも我慢しろ

興味がそそらない本だったらすぐやめる

授業終わったらその日にやっしまえ

毎日数分でも続ける

ぜひ積極的に取り組んでほしいです

英語を感じてほしい

内容を理解しながら素早く読むことを意識すると良いと思う

やる気が起きない時でも読むと決めたら読むと良い

時間を決めて読んだほうが良いと思います

一人で読むと眠くなったけど、友達と読むと起きられるし多読の話で盛り上がって楽しさ倍増↑



\*2022~2024年度の調査結果を基にした研究については、立田 夏子・小野寺 進 (2025), 「『5分間多読レベル測定法』の開発とその有効性—教養教育英語科目への導入に向けて—」『弘前大学教養教育開発実践ジャーナル』, 9, 1-12.をご覧ください。



## 4 Special Feature

# 「私にとっての教養英語」

木村 宣美 先生

今回のSpecial Featureでは、長年に渡り教養英語を牽引されてきた木村 宣美 英語部門長（人文社会科学部 教授）に、「木村先生にとっての教養英語とは？」というテーマでインタビューさせていただきました。

インタビュアーは、松本 乃絵瑠（医学部保健学科 1年）と太田 ひより（教育学部 1年）です。

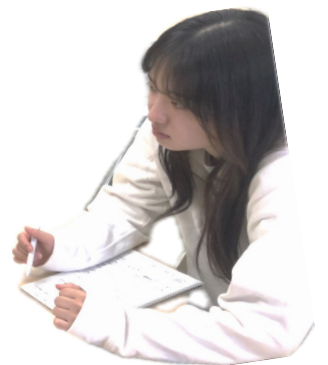


### Q1. 弘前大学の教員になった気付けは何ですか？弘前大学には何年勤務されましたか？

出身は弘前大学の人文学部。その後、筑波大学の大学院で5年間、研究。もともと英語の高校教師を目指していたんだけど、大学院の教授からの推薦してもらい、ある大学にお願いしたのさ。でも、数ヶ月立っても返事が返ってこず。その後、静岡大学にお願いしたら受かって、大学教員に。静岡大学では教養部に所属し、教養英語を担当しました。

3年後、弘前大学で英語学を専門として教えていた教授が異動してしまうことになり、教員の募集をかけているという情報をゲット・・・そこで！！その募集に応募し、幸いにも採用され、母校である弘前大学の教員として35年前に赴任したってわけです。そして、**教養教育に力を注ぐこと13年**。大学教員生活38年で、もうすぐ退職です。

大学の先生って、どうしたらなれるか分かる？専門性、これが大事よ。**研究活動をチャームンとして、論文をしっかりと書いていることが大事**。あと、面接の時は、柔軟な考え方ができるか、協調性があるか、みられるわな。



### Q2. 教養英語と学部の専門科目、担当されて何か違いはありましたか？

あるよ。

1年間を通して同じ学生を見るなら学生の成長も感じるができるけど、教養英語は半年で担当が終わってしまう。**教養英語が終わってしまうと交流もなくなってしまうから、担当した学生との付き合いがなくなってしまうのは悲しい**。でも、科目の性質上、前期と後期でクラスが変わってしまうのは仕方がないわな。前は、1クラス70人くらいで英語の授業をしたこともあって、あの時は大変だったな～。

**専門の学生は、大学を卒業した後でも結婚式に呼ばれたりと、交流があることが多いよ**。30年ぐらい前、専門の授業で難しい話をしてしまったらしく、**テープに講義を録音して、自分たちで文字起こしをしてまで勉強している学生がいた**。あの頃の学生はよく勉強してた。



### Q3. 教養英語に対して、どんな思いがありましたか？

授業中、中学校や高校で何を勉強していた？と不安になることが最近が多いね。実際に英語を使うことで知識は定着するのだけど、定着していないな？と感じる。私は英語の文法について研究しているから、授業中、**学生が文法、英語の作り、言語の基本的な仕組みをしっかりと理解できているか確認する**のよ。できていればホッとする。

アメリカに10ヶ月留学した時、文化の違いにびっくりした。当時は日本ではHalloweenなんてやってないから、Halloweenを知らないわけよ。アメリカでHalloweenの時、大きい紙袋持って歩いていたら、殺されるか？と思った時あったよ。でも、**国内外を問わず、外の世界を体験する、そういう経験もいいんじゃないかな？**コミュニケーションの仕方とかも、実際に英語を使ってコミュニケーションして、分かるようになるしね。地元から離れて過ごしてみると、**柔軟な考えが身についたり、物事を普段とは違った角度から見るようになる**。弘前は冬に太陽が見えなくなるから、太陽がある地域に住んでみるのもいい経験かもよ。



### Q4. 今後の教養英語に期待していることを教えてください。

国際化の世の中で、スマホや生成AI、翻訳アプリに頼るだけのコミュニケーションはもったいない。AIの普及が著しいが、これにだけ頼っていると、無味乾燥なコミュニケーションになってしまう。

大学の教養英語は、高等教育なのだから、**人間力を高める教育が必要**。有意義なコミュニケーションのために、**言語の基本の作りをしっかりと教えることができるカリキュラムの維持、基礎的なスキルを伸ばすことができる体制の維持**、弘前は弘前なりの。これに期待したい。



木村 宣美 教授 (人文社会科学部)

青森県五所川原市出身

弘前大学人文学部卒業、筑波大学文芸・言語学研究科単位取得満期退学、2001年から弘前大学人文学部教授、2025年3月退職

長年にわたり弘前大学の教養教育の改善に尽力され、2003年度～2007年度には21世紀教育センター副センター長、2008年度～2016年度には同センター長、2016年度～2017年度には英語WG長、2018年度～2024年度には英語部門長を歴任

(連携キーワード)

英語学・言語学 (統語論・意味論)、生成文法理論、英文法 (研究概要)

脳の内部には様々な認知システムと連動する言語に固有で自律的な部門、すなわち言語機能が存在すると仮定する生成文法理論 (統語論・意味論) 研究

◇2種類の助動詞倒置文の基底構造と派生メカニズムの解明

[研究室紹介HP](#)



インタビューは1時間の予定でしたが、話が弾んで、気づけば、1時間半が経っていました。

ここでの記事には書いていませんが、先生の留学中の話は大変興味深いです。私達は前期に先生の教養英語の授業を受けました。先生の授業は、英文の説明がとても丁寧で、英語というより「言語」の面白さに気づくことができました。先生が言語の研究者とはインタビューさせていただくまで知りませんでしたが、今となっては納得。先生はこの3月でご退職です。しかし！まだしばらく弘前大学にいらっしゃるようですので、みなさん、是非、先生の研究室に遊びに行き、先生と話をしてみてください。私達も英検の勉強を教えてください約束をしました。

インタビュー中、終始楽しそうにご自身のことや英語教育について熱く語ってくださった木村先生、貴重なお話をありがとうございました！



# Back number



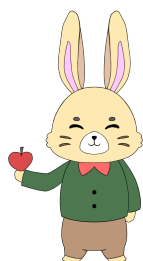
[HULEC 2023.4](#)



[HULEC 2024.4](#)



Hirosaki University Liberal Arts English Courses



フレック

© 2023-2025 TAKEYAMA Ayane

竹山 綾音 さん（農学生命科学部）

発行：弘前大学 教育推進機構 教養教育開発実践センター 英語部門

E-mail : [hulec@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hulec@hirosaki-u.ac.jp)

HP：教養教育に関する情報 <https://liberal-arts.hirosaki-u.ac.jp/>

Webご意見箱：HULECに関するご意見 <https://forms.office.com/r/5NBETTRGTS>



※ 本誌における教員の所属学部と学生の所属学部・学年は、2025年3月末時点の情報です。